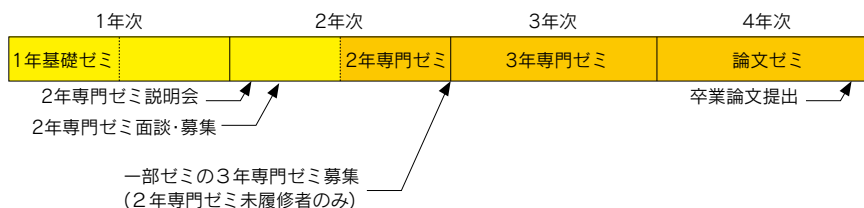


2. 「ゼミナール」のすすめ

商学部では少人数のゼミナールに力を入れています。高校までと異なり、大学にははるかに多くの学生が通学しています。また、ホームルームもありません。よく知らない先生に相談に行くのに抵抗がある人もいるかもしれません。ゼミナールは商学部の専任教員全員が担当しています。少人数で行われるゼミナールは、参加している学生の皆さん一人ひとりと商学部の先生方が身近に接して、勉強だけではなく皆さんが困ったときの相談にのったり助言をしたりすることができます。その意味でも、ゼミナールはぜひ履修してください。

商学部のカリキュラムには、各学科の「基礎ゼミナール」「2年専門ゼミナール」「3年専門ゼミナール」および「論文ゼミナール」があります。

「基礎ゼミナール」は、1年次の前期に、学籍番号順に割り当てられたクラスで大学での学習の基礎を学びます。2年次以降の「専門ゼミナール」と「論文ゼミナール」は、皆さん自身が選んだ商学の専門分野をより深く学ぶ場となります。したがって各ゼミナールの研究テーマによって皆さんが選択し参加します。ひとつのゼミナールの定員は十数名ですので、希望するゼミナールの申込者が定員を超える場合は選考によって入れない場合もありますが、この『スタディガイド』にプロフィールを載せている商学部の専任教員全員が担当しますので、いずれかのゼミナールに参加することができます。



(1) 1年次の「基礎ゼミナール」

「基礎ゼミナール」は少人数の導入科目で、大学で学ぶ際に身につけておきたい基礎的な力を養うための科目です。その内容は、図書館の使い方やレポートの書き方、プレゼンテーションの仕方、討論の仕方などです。いずれも、大学で授業を受けたり、レポートをまとめたり、後述の「専門ゼミナール」などで勉強したりする場合に必要な「基礎知識」や「技術」を学ぶものといえるでしょう。詳しくは、本ガイドの各学科の紹介の部分や Web シラバスをみて、確認してください。

(2) 2年次後期から4年次まで続く「専門・論文ゼミナール」

「2年専門ゼミナール」「3年専門ゼミナール」および「論文ゼミナール」はそれぞれに単位が与えられる独立した科目ですが、2年次後期から4年次の「論文ゼ

ミナール」まで2年半、同じ教員のもとで学びます。途中でゼミナールの履修を放棄したり、単位を落としたりすると、それ以降のゼミには参加できなくなります。

2年次前期に「2年専門ゼミナール」の募集が行われます。2年半もの間、同じゼミナールで活動することになりますので、自分に合ったゼミナールを適切に選択することが必要です。そのためには、入学してからそれまでの間に、しっかり授業に取り組んで自分が関心のある専門領域をはっきりさせるようにしましょう。時間が許せば、担当教員の授業に出てみるのもいいでしょうし担当教員のオフィスアワーを利用して積極的に話を聞いてみるのもいいでしょう。自分が関心のある専門領域に最もマッチしたゼミを選ぶことが重要です。

「2年専門ゼミナール」は2年次後期に行われます。ゼミの内容や進め方は先生によって異なります。ある先生は、設定されているテーマに関する基本的な文献を輪読させてその文献に対する理解を深める形で行ったり、ある先生は、あるテーマに沿って学生にレジュメ（報告要旨）を作らせて発表させ、学生に討論をさせたり、またある先生はグループワーク中心のゼミ活動を行ったりと、それぞれに特徴があります。ゼミナールは、**一般の授業とは異なり**、先生と学生の皆さん一人ひとりの信頼関係で成り立っています。無断欠席や理由なく遅刻したりすることはあってはなりません。また、見学や合宿研修などのゼミ活動の企画から実施まで、先生と相談しつつ**学生が主体**になって行うのが一般的です。

「3年専門ゼミナール」で扱われる内容は、「2年専門ゼミナール」に比べると、やや応用的なものになります。この「3年専門ゼミナール」が、団体としてのゼミ活動としては最も充実した時期と言えるかもしれません。専門知識が次第に身に付き、授業の理解度も、プレゼンテーション能力も高まって、4年次の卒論研究に向けて研究領域をさらに深めていく時期でもあります。学生の主体性が発揮され、見学、合宿研修やゼミ大会といったゼミ活動が活発になるのもこの学年です。

4年次の「論文ゼミナール」の目的は、卒業論文の作成です。卒業論文は大学4年間の勉学の集大成です。まず、卒業論文のテーマを決め、参考文献・資料を収集することから始めます。卒論の発表は先生と1対1で行う場合もあれば、ゼミの時間に発表する場合があります。論文はきちんとした形式に則って作成されなければなりません、その形式は1つではありません。このスタディガイドにも論文の書き方や手順について解説した部分がありますが、一例にすぎません。卒論を作成する際には、担当の先生の指示に従ってください。卒論の提出は12月の中旬です。論文完成までには、いろいろな困難がありますが、ゼミの担当教員が多方面からサポートしてくれるでしょう。

以上のように、ゼミナールの概要を簡単に述べましたが、ゼミの進め方や内容は担当する先生によってかなり異なります。自分が関心のある専門領域に合ったゼミを見つけるためにも、ゼミに興味をもった皆さんは、2年次の前期に開催される「説明会」に出席し、さらには担当教員の研究室を積極的に訪問するなどして、応募していただきたいと思います。